

国際理解教育を求めて

第 64 号

令和 7 (2 0 2 5) 年 3 月 1 日

発行 十勝地区国際理解教育研究会 代表

担当 広報部 (新得町立新得小学校内)

////////////////////////////////////

「フランクに国際理解教育を語る場として」

十勝地区国際理解教育研究会

会 長 河 井 義 徳

(音更町立柳町小学校)



令和 6 年 1 月 2 8 日、幕別町立札内東中学校、音更町立木野東小学校、木野コミュニティセンターの三か所を会場として、「第 4 5 回十勝地区国際理解教育研究会 音更・幕別大会」が開催されました。本会としては、初の 2 町にまたがる形での開催となりましたが、音更町、幕別町両町の教育委員会をはじめとした関係各位のご理解とご協力を賜り、盛会に行うことができました。心よりお礼を申し上げます。

さて、現代社会はますますグローバル化が進み、多様な文化や価値観が交錯する中で、国際理解の重要性はかつてないほど高まっています。異なる背景を持つ人々との共生と協力を実現するためには、相互理解と尊重の精神が不可欠です。本会の研究主題「多様な世界にかかわり続ける行動力を身に付けた児童生徒の育成」はまさに現代社会に生きるために必要不可欠な力といえるでしょう。

十勝地区国際理解教育研究会では、本年度もこの理念を実践するために、さまざまなイベントを開催してまいりました。本会は長短期の海外派遣、在外教育施設派遣者やそれを志す者だけでなく、広く国際理解教育に興味・関心を持たれている方々に、実際の体験を通じて、肩ひじを張らずに、フランクに国際理解教育について語り合える場、学びあえる場となることを目指してきました。また、最新の教育研究や実践事例を共有することで、教育現場における国際理解教育のあり方について研究をしてまいりました。本会が、今後も誰もがフランクに活動できる場であり続けることを、願っております。

最後になりますが、私たちの活動は会員の皆様をはじめとした関係各位のご支援とご協力なくしては成り立ちません。今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、「国際理解教育を求めて (第 6 4 号)」の巻頭言といたします。

- 9月10日(火) ○第3回役員会
 ・第45回十勝地区国際理解教育研究大会音更・幕別大会の開催について
 ・「小豆の会」の開催について
 ・JICA研修報告について
- 10月15日(火) ○十勝地区国際理解教育研究会音更・幕別大会2次案内発送(締切10月29日)
- 10月31日(木)・11月1日(金)
 ○第45回北海道国際理解教育研究大会胆振・苫小牧大会(会長・事務局長 参加)
- 11月5日(火) ○第45回十勝地区国際理解教育研究会 会場校打合せ
 於：札幌東中学校(岩崎事務局長)
- 11月20日(水) ○第4回役員会
 ・第45回十勝地区国際理解教育研究大会音更・幕別大会 最終確認
- 11月28日(木) 第45回十勝地区国際理解教育研究大会音更・幕別大会(45名参加)
 【授業公開Ⅰ】「持続可能な未来を創るために～人の暮らし方を考える」 1年 国語科
 幕別町立札幌東中学校 教諭 山崎 靖恵
 【授業公開Ⅱ】「算数で読み解こう～プラスチックごみについて調べよう～」 6年 算数科
 音更町立木野東小学校 教諭 宮原 玲奈
 【実践発表】 帯広市立西小学校 教諭 佐藤 紀子
 派遣先：シンガポール日本人学校チャンギ校
- 12月21日(土) ○第5回役員会
 ・第45回十勝国際理解教育研究大会の反省
 ・第46回大会の授業会場、授業者について
 ・小豆の会について
- 12月21日(土) ○海外事情報告会・交流会
- 1月10日(金) ○北海道国際理解教育研究協議会 理事総会・研修会
 ○帰国教員報告会及び派遣教員研修会 JICA札幌(岩崎事務局長)
- 2月8日(土) ○小豆の会 JICA帯広
 講師 川上 裕明 校長
 講師 森本 聡 校長
- 2月8日(土) ○令和7年度在外教育施設派遣教員激励会(小豆の会終了後)
- 2月8日(土) ○第6回役員会(小豆の会開催前)
 ・令和7年度総会へ向けて
- 3月 ○会誌「国際理解教育を求めて」第64号発行

研究部

研究部長 大西 啓就

(音更町立木野東小学校)

○ 活動経過報告

- 6月15日(木) 第1回研究部会 第45回十勝地区国際理解教育研究大会音更・幕別大会について
 ・年間予定 ・研究の概要 ・研究授業に係る確認及び組織の編成
 ・指導案等の作成 ・授業別分科会に係る運営等の確認など
- 7月27日(土) 北海道国際理解教育研究協議会「夏の学習会」について
 ・全道大会胆振・苫小牧大会の授業に係る概略 ・質疑応答 ・意見交流
- 8月31日(木) 第2回研究部会 第44回北海道国際理解教育研究大会十勝・帯広大会について
 ・指導案に係る確認 ・授業別分科会に係る運営等の確認など

- 10月28日(月) 小学部会 指導案検討
- 10月30日(水) 中学部会 指導案検討
- 10月31日(木) 北海道国際理解教育研究協議会 理事会総会・研修会について
・各地区の研究推進に係る取組の交流
- 11月28日(木) 第45回十勝地区国際理解教育研究大会音更・幕別大会

○ 令和6年度研究概要について

(1) 研究主題(3年次計画の1年目)

多様な世界に関わり続ける行動力を身に付けた児童生徒の育成
～国際的視野を広げ、未来へ向けて主体性・創造性を育む授業を目指して～

(2) めざす子供の姿

- グローバルな視野とローカルな視野をもち、主体的に自分と人・世界・未来をつなごうとする児童生徒
- 世界の中の日本及び日本人としての在り方を考え、対話等を通して創造性を高めて課題を解決する児童生徒

(3) 授業づくりの視点

3つの活動を取り入れ、グローバル意識の醸成を図っていく。

- ・ intake活動(「気づき」と「対話」のある学び)
児童生徒に異文化を理解させながら世界の現実に触れる蓄積を図るとともに、体験的な学習を通して、自分と世界のつながりを意識する活動
- ・ output活動(協働的な学び)
対話を通して他者との違いや考えを吟味して統合し、課題を解決する方法を考えたり、討論したりする活動
- ・ outcome活動(主体的に行動する学び)
自己の信念や価値観を吟味し、具体的な行為を選択し、いかに行動すべきかを決定し課題を解決するための主体的な活動

研修部

研修部長 越智 卓
(帯広市立つつじが丘小学校)

○ 活動経過報告

(1) 第45回十勝地区国際理解教育研究大会 11月28日(木)

① 当日まで

- ・ 掲示物準備、実践発表会準備

② 当日

- ・ 開閉会式会場準備等

③ 実践発表会の運営

- ・ 発表者 帯広市立西小学校 教諭 佐藤 紀子(元シンガポール日本人学校チャンギ校)

(2) 海外事情報告会・交流会(JICA北海道(帯広)) 12月21日(土)

① 報告会の運営

- ・ 発表者 鹿追町立鹿追小学校 教諭 川上 光陽(2024年度 JICA教師海外研修参加)

② 交流会の運営

- ・ 発表者 更別村立更別中央中学校 校長 小室 彰人
本別町立勇足中学校 教頭 多田 明寿
帯広市立柏小学校 教諭 磯谷 麻江

○ 今年度の活動をふりかえって

- ・ 研究大会の運営に際し、会場を複数使うことで、準備等は苦労したが、各部と連携しながら円滑に大会を実施することができた。

- ・今年度は、JICA教師海外研修を軸とした研修会を開催した。今年度の参加者のみならず、過去に研修に参加した先生からの発表も含めたことで、有意義な研修となった。今後も、派遣者や海外研修参加者を軸に研修機会を設定し、十勝地区の国際理解教育の発展に寄与していきたい。

組織部

組織部長 野田 剛
(清水町立清水小学校)

- 「世界のともだち 2024」パネル展示
ブースを出展。在外施設派遣を経験した教員による『世界で学ぶ子どもたち』と題してパネル展示を行った。今年度は子どもたちの来場が多く、海外の情勢に興味・関心がある若い世代が増えているように感じた。
- 「第45回 十勝地区国際理解教育研究大会音更・幕別大会」
研究会において、駐車場の誘導・昼食の手配の役割分担があった。会員全員に呼びかけて参加者、協力者を募り、組織部全体で取り組むことができた。
- 「小豆の会」開催
退職される校長先生2名を講師として、「小豆の会」を開催。それぞれの日本人学校での実践や文化、これから派遣を目指す先生方へのメッセージなど、多くの気づきをいただいた会となった。
組織部として部員全員に周知し、役割分担もできるだけ多くの先生方にお願ひし、チームで運営できるよう意識して取り組んだ。
- 「会員数拡大と情報提供」
事務局および広報部との連携により会員数の拡大を目指し、国際理解教育への関心を持つ教員へのより良い情報提供を推進していく。

広報部

広報部長 佐々木敦史
(新得町立新得小学校)

- ホームページの更新
 - ・『海外事情報告会・交流会』
 - ・『第45回十勝地区国際理解教育研究大会音更・幕別大会』
 - ・『世界のともだち2024』
 - ・『令和5年度北海道国際理解教育研究大会十勝・帯広大会解散総会
／令和6年度十勝地区国際理解教育研究会定期総会』
 - ・『世界からの声』
- 『国際理解教育を求めて64号』の発行
- 今年度の活動をふりかえって
 - ・本会の活動を、ホームページを活用して紹介することができた。今後も研究大会や交流会があれば、できるだけ早くアップロードできるように取り組んでいきたい。
 - ・『国際理解教育を求めて第64号』を発行することができた。

- 『国際理解教育を求めて』第64号をお届けします。
- 昨年度に開催された北海道国際理解教育研究大会の経験を活かして、これからも十勝地区国際理解教育研究会の活動を充実させていきたいと思ひます。